

12/16

ひみ第九 澤武紀行さんに 氷見国際芸術文化交流大使委嘱

11月17日に開催された「ひみ第九～はじめの一步コンサート～」で総監督を務めた澤武紀行さんに「氷見国際芸術文化交流大使」を委嘱しました。

これは、第九演奏会の一層の進化と、欧米などとの新たな文化交流の橋渡しを期待し、委嘱するもので、大使第1号となります。

澤武さんは「光栄なこと。ヨーロッパでの経験を生かしたい」と今後の意味込みを語りました。

12月20日には、大使着任の報告と感謝の気持ちを込めてコンサートがいきいき元気館で開催され、市民約120人が本格的な歌声に聴き入りました。また、観客と一緒に第九を歌う場面も。来年度の第九合唱練習開始を待ち望んでいるかのように大きな拍手が送られました。



12/20

迫力ある映像で富山湾を体験！ 漁業文化交流センタープレオープンイベント

春のリニューアルオープンを前に、漁業文化交流センターでVRシアターの上映会が行われ、富山湾上空を飛行し海中で魚と回遊する映像が一足先にお披露目されました。

センターは、潜在型の観光推進拠点となるよう、感じ・楽しみ・学ぶことができる施設へとリニューアル工事を行っています。

今回披露されたのは、目玉の一つとなるVRシアター。4枚の大型スクリーンを使うことで、あたかも海中や船上にいるかのような感覚を体験できます。

当日は飲食や雑貨などが出店するイベント「からしま^{のみ}蜜の市」も開催され、多くの家族連れらが映像を楽しみ、新しく生まれ変わるセンターを心待ちにしているようでした。



1/4

豊漁を願い 氷見魚市場初市式

令和2年の氷見魚市場初市式が行われ、漁業者や仲買人などが今年の漁の安全と豊漁、商売繁盛を祈願しました。

氷見漁業協同組合の森本組合長が「今年の豊漁を祈りたい」とあいさつし、引き続き、氷見魚仲買商業協同組合の釣組合長があいさつをしました。林市長、堂故参議

院議員が祝辞を述べた後、氷見漁協の小島事業部長が三本締めをしました。

この後に開かれた初競りでは、競り人や仲買人の威勢の良い声が魚市場に響き渡り、市場は活気づきました。



1/4

安全で安心なまちづくりを 消防出初式



令和 2 年の消防出初式が氷見漁港緑地公園で行われ、消防関係者ら約 380 人が参加しました。

これは、消防職員団員の士気と防火防災への決意を高めるもので、「安全で安心のまちづくり」を推進することを目的としています。

式典終了後には、消防団員による「木遣りきや(※)」の披露や車両部隊・徒歩部隊による分列行進、上庄川で防火の願いを

を込めた一斉放水を実施。

富山県消防防災ヘリも登場し、見学者らは笑顔を見せながら、防火・防災への意識を高めていました。

※元来は複数の人数で一つの作業を行うときに力を一つにまとめる合図として唄われていた労働歌であった。現在は、祭礼の歌として唄われており、祝賀の意味を持つようになっている。



1/5

一年の精進を誓う 武道稽古始め



武道稽古始めがふれあいスポーツセンターで行われ、児童から一般までの武道関係者約 140 人が一年の精進を誓い、練習に打ち込みました。

開始式では、藪田栄治市剣道連盟会長が「明確な目標をもってまい進する一年に」とあいさつし、林市長が「武道を通じて相手を思いやり尊敬する心を磨いてほしい」と激励しました。

参加者を代表して、南部中学校剣道部 2 年の菊池こうせい 生主将が「自己の修養に励むことを誓います」と述べました。

この後、弓道、柔道、剣道、空手道の 4 競技ごとに分かれて稽古を開始し、参加者は気合の入った様子で乱取りや打ち込みなどに汗を流しました。

